コミック シュリンカー NICO 1000S

取扱説明書

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。本製品の正しい使い方と使用上の注意についてご理解いただくため、この取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、専用台の中に大切に保管しておいて下さい。

株式会社 ダイワハイテックス

目　次

1. 安全にご使用いただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

2. 使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

3. 仕様・各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

4. 使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

5. 自動・手動包装をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

6. メンテナンス手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

7. 故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

8. アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

1. 安全にご使用いただくために

警告表示の意味

取扱い説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

機械操作時、当事者および第三者が取扱いを誤り、その状況を回避しない場合において**死亡**または**重傷**を招くおそれがあるところ。

機械操作時、当事者および第三者が取扱いを誤り、その状況を回避しない場合において**中傷**または**軽傷**を招くおそれがあるところ。

注意を促す記号

行為を禁止・強制する記号

2. 使用上のご注意

消耗部品の交換は正しい手順で行なってください

・間違った方法でおこなうと手の挟み込みや**火傷**の危険性があります。
・交換作業の前には必ず電源コードのプラグをコンセントから抜き、正しい交換方法で作業をおこなってください。

内部に水や異物を入れないでください

水や異物が入ると**火災**や**感電**の原因となります。
万一、水や異物がはいったときは、すぐにメンテナンス係まで修理の依頼をお願いいたします。
（東京：03-3558-8131　大阪：06-6190-5731）

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください

感電の原因となります。

注意

機械内部には、手を触れないでください

機械使用中や使用直後は内部が高温になっており、**火傷**をする恐れがあります。

ぬれた手で電源コードに触れないでください

感電の原因となることがあります。

電源コードは正しく配置してください

電源コードは足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

機械は指定した場所に置いてください

・機械裏側(背面)と壁までの隙間を最低 **10 cm以上**確保して下さい。
近づけ過ぎると熱がこもり、機械の故障につながる恐れがあります。
・温度が高い場所や常温でない場所、または粉体の充満している場所に置くと、機械が正常に作動しない場合があります。
・ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が倒れてけがの原因となることがあります。

本体の上に重いものを乗せたり、体重をかけたりしないでください

本体が歪む恐れがあり、故障の原因になります。

お手入れやメンテナンスの際、電源プラグを抜いてください

電源プラグを差し込んだままお手入れやメンテナンスをすると、**感電**の原因となることがあります。

当社指定の純正品以外は使用しないで下さい

部品等を交換される時は、必ず当社指定の純正部品をお使い下さい。

必ず専用 NR フィルムおよび専用 SF シュリンク袋をお使いください

本機は純正 NR フィルムおよび純正シュリンク袋の素材特性に基づき設計されています。

※純正フィルムは厚みや収縮率など、機械に合わせて開発しております。

フィルムの性質が違いますと機械に不具合が生じたり、仕上がりが不十分になる恐れがあります。

この場合、**保証期間内であっても修理時の無償サービスの対象外とさせて戴きます。**

指定サイズ以上の本を包装しないで下さい

規定よりも大きな本を投入しますと、機械内部で引っかかり、**過熱**や**発火**の原因になり危険です。

必ず規定の範囲を守りご使用ください。

※包装できる本の大きさ

自動包装　　使用限界サイズ：厚さ 30㎜×幅 210㎜ 以内

手差し包装　使用限界サイズ：厚さ 55㎜×幅 290㎜ 以内

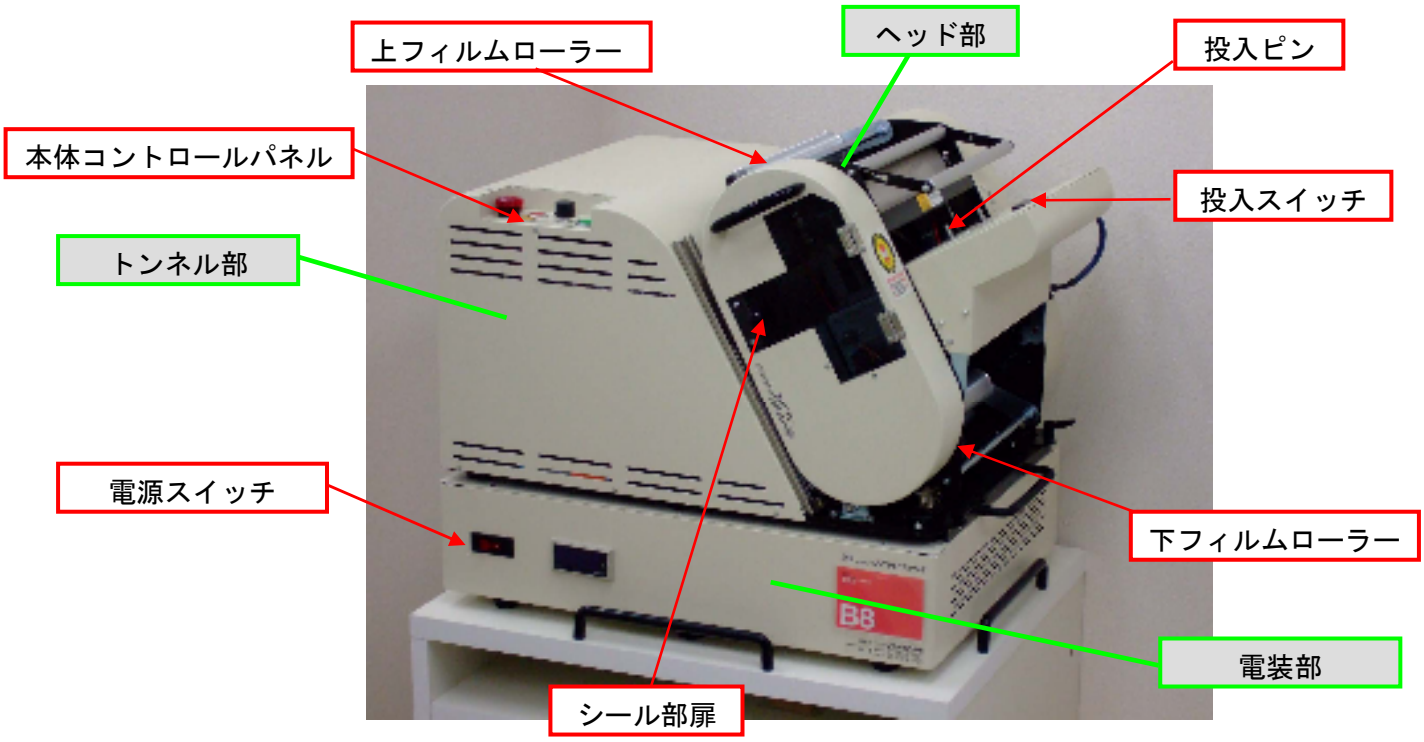
3. 仕様と各部名称

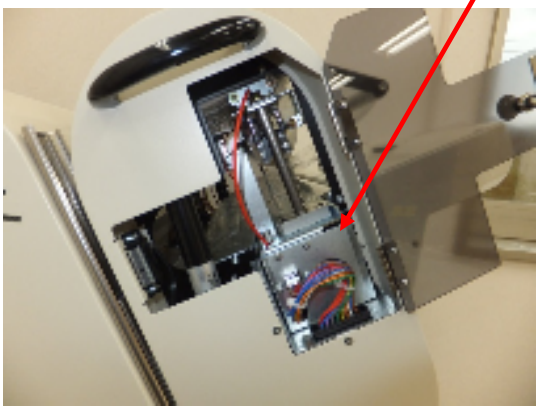
仕様

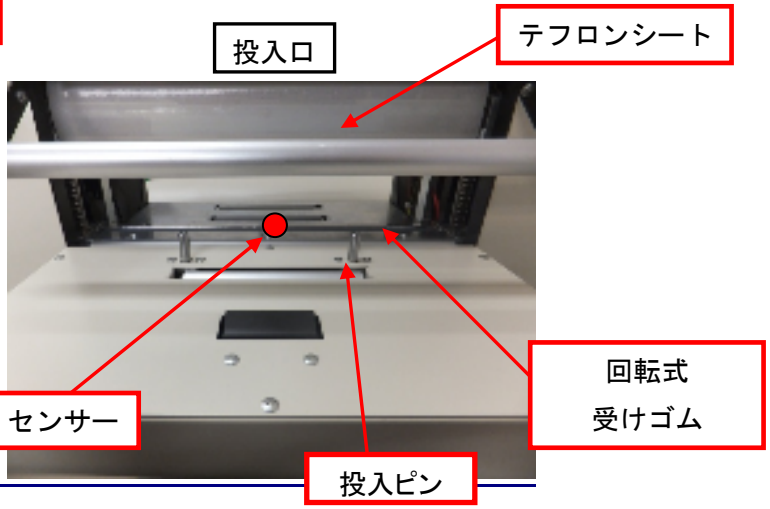
機種名	ＮＩＣＯ－1000Ｓ	起動所要時間	10 分
機械寸法	513×420※×481(㎜) ※投入部収納状態	安全装置	非常停止スイッチ 自動クーリング停止機能
重量	本体 42kg	電源コード	３ｍ
仕様電源	ＡＣ100Ｖ・15Ａ	消費電力	1.460ｋｗ
使用限界サイズ	自動包装：厚さ 30㎜×幅 210㎜ 以内 手差し包装：厚さ 55㎜×幅 290㎜ 以内		

※電源電圧は１００Ｖ±３％でご使用ください。

各部の名称

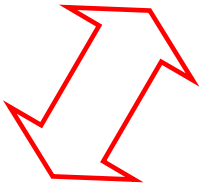


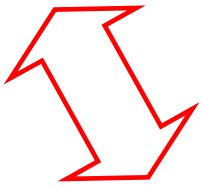




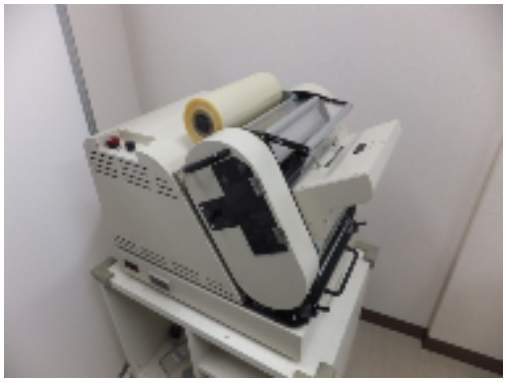
※ ヘッド部の開閉は以下の 3 段階に開閉します。

フィルムセット時





自動投入時



手差し投入時

本体コントロール

非常停止スイッチ　フィルム切れランプ　速度調整つまみ　操作スイッチ

非常停止スイッチ

・ スイッチを押し**ランプが点滅**している状態では、すべての動作を停止します。
・ **緊急時**、または**動作中に停止**させたい場合に押してください。
※　本体の非常停止スイッチです。トンネル部は停止しません。
※　解除するときは、時計回りにスイッチを回してください。

フィルム切れランプ

- フィルムが正常に送られない場合に点灯します。異常個所を解消（フィルムを交換など）後、緑の操作スイッチを押すと解除します。

電源を入れてから１０分間は準備中（機械内部を暖め中）となります。１０分後に操作スイッチが点灯しますので、使用開始の目安にお使い下さい。※準備中でも本体は動作します

操作スイッチ　※スイッチの押し方で各種操作をします。

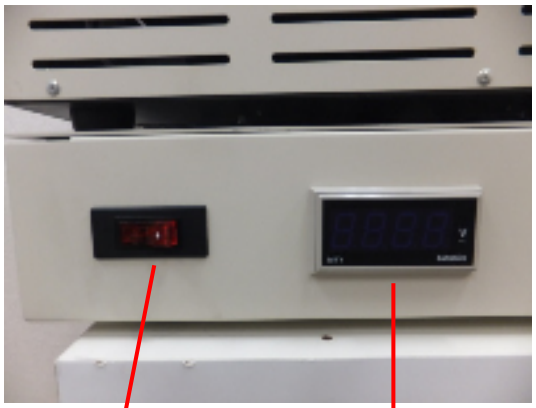
・１回押し（・）リセット　　各種状態の解除時に押します。

・１回長押し（—）手動シール　　手動シール動作時に押します。

・速度調整つまみ

コンベア速度を調整します。きつくシュリンクをかけたい時は遅く（反時計回りに）、緩くかけたい時は速く（時計回りに）して下さい。

電装部コントロールパネル



電源スイッチ

機械の主電源です。ＯＮにすると点灯します。使用する場合はＯＮにして約１０分間準備（機械内部の暖め）を行って下さい。

電圧計

現在供給されているコンセントからの電圧を表示します。

4. 使用方法

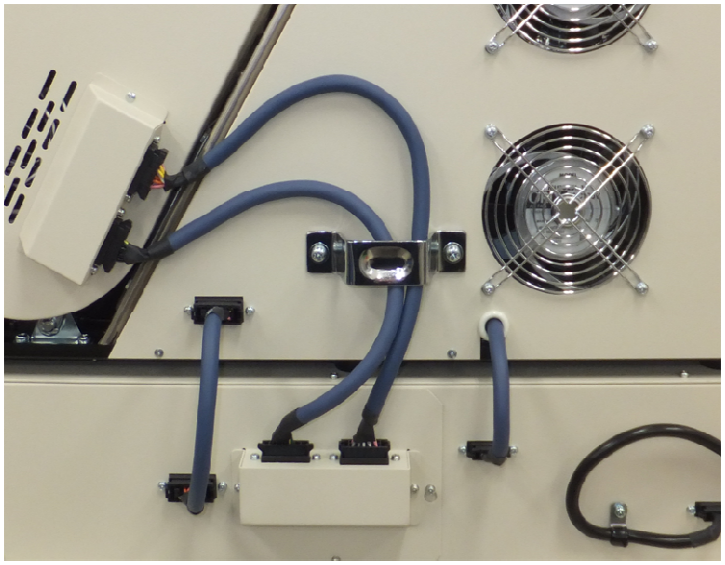
1. 電源の入れ方

１－１　電源コードのプラグをコンセントに繋ぎます。

※電源コードのプラグをコンセントの根元までしっかり差し込んで下さい。
　差し込みが不十分だと接続部に埃がたまり、火災の原因となります。
※タコ足配線はやめてください。電圧が低下し、仕上りが悪くなる恐れがあります。

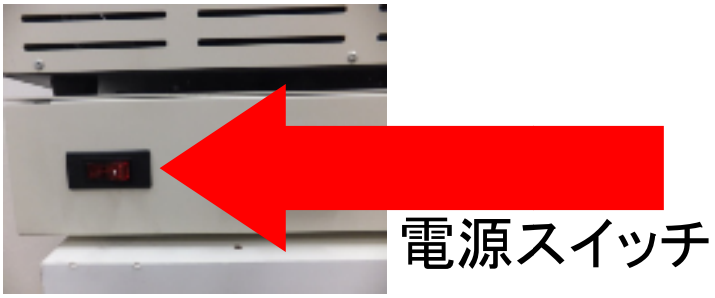
１－２　コネクターを下写真のように接続します。

コネクターを装着した状態



※コネクターは“カチッ”と音がするまで差し込んでください。
※コネクターを外すときは両端をつまんで引き抜いてください。

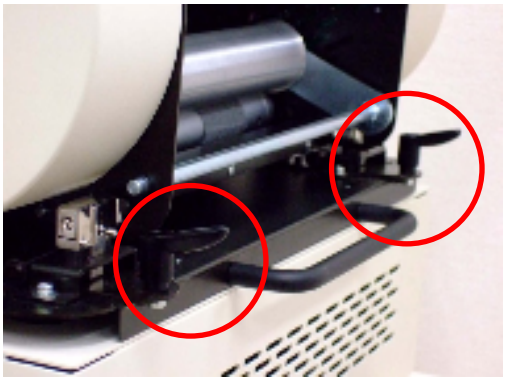
１－３　電源スイッチを入れます。



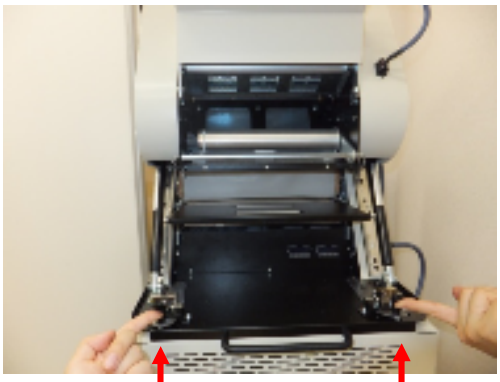
２．フィルムをセットする

①誤動作防止の為、**非常停止ボタン**を押す。

②ヘッド部のロックレバーを２箇所同時に上方向に持ち上げて、上昇させます。



ヘッド部ロックレバー

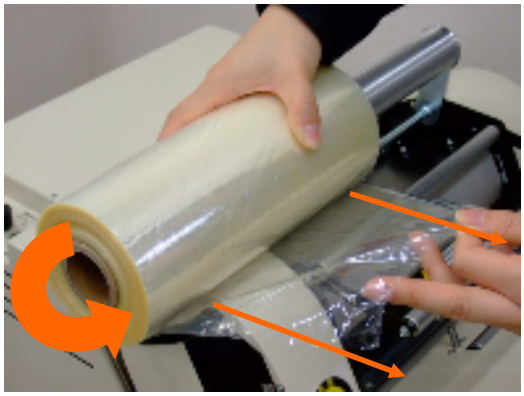


上方向へ持ち上げる

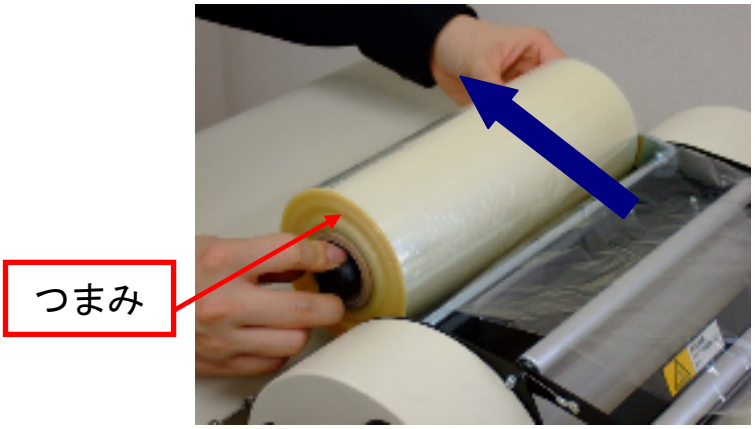
③上フィルムローラーについているつまみを、緩めます。

（※緩めすぎると、つまみがローラーから外れてしまうので、注意して下さい。）

④フィルムをセットします。（方向に注意!!）



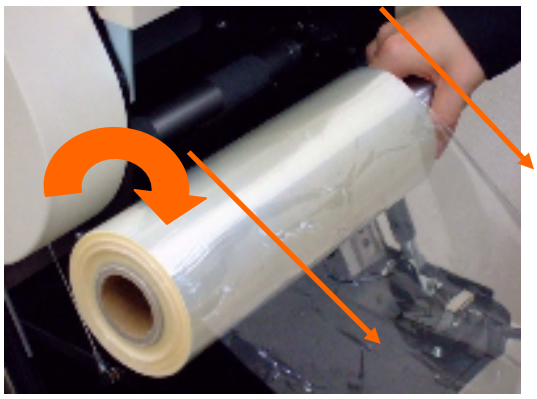
⑥フィルムローラーを後ろに戻し、**つまみを締めます。**



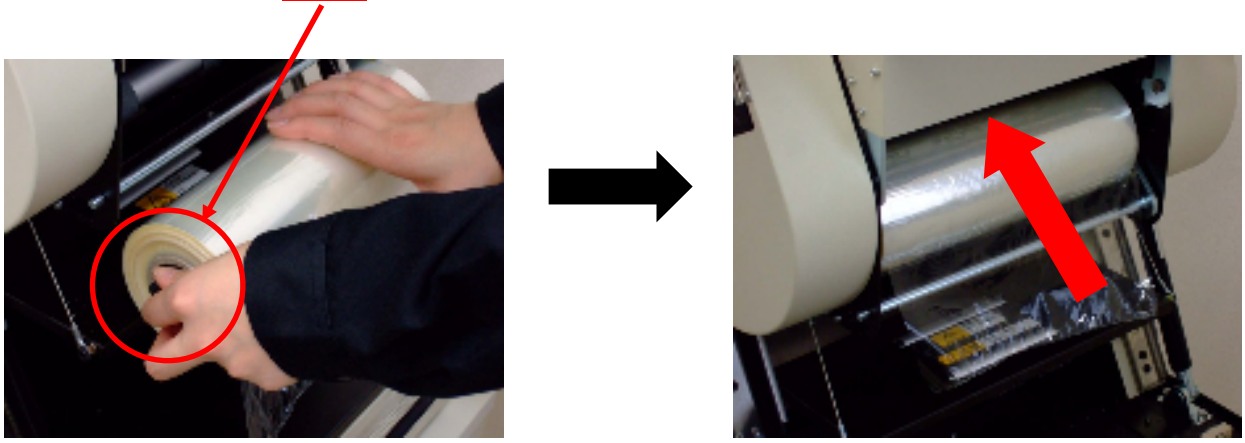
⑦下フィルムローラーについているつまみを、緩めます。

（※緩めすぎると、つまみがローラーから外れてしまうので、注意して下さい。）

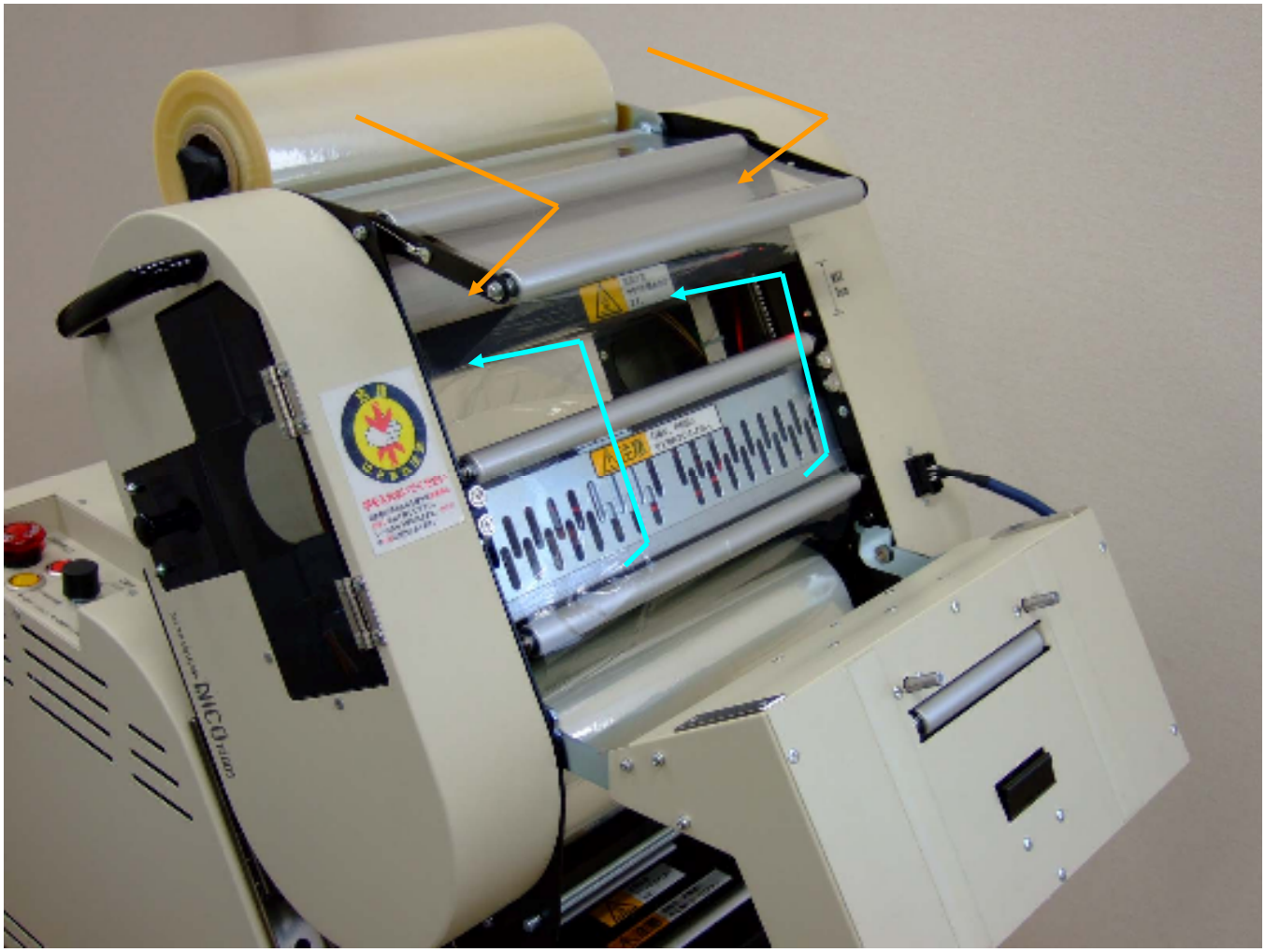
⑧フィルムをセットします。（方向に注意!!）



⑨フィルムローラーの**つまみ**を締めて、フィルムローラーを前に戻します。



⑩フィルムをかけます。



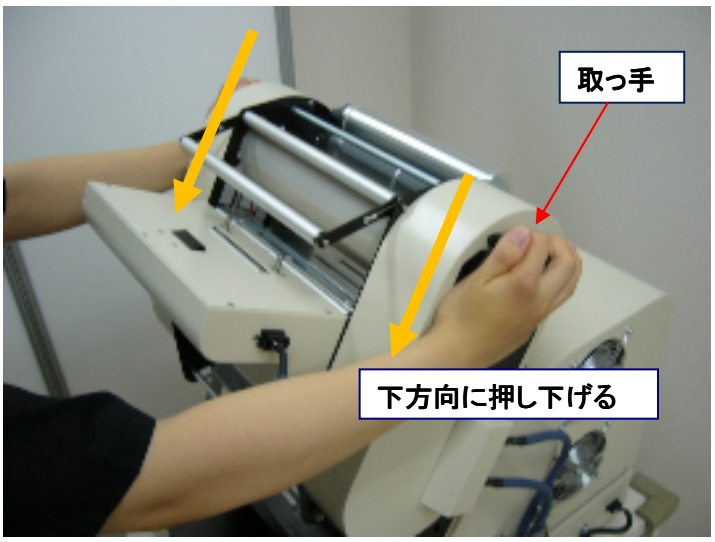
⑪本体上部の操作スイッチを長押し（2 秒）して、フィルムを接合してください。

※１　機械が温まってない場合は、接合が上手くできない場合があります。

※２　接合した余りの部分は、必ずヘッド部の後ろ側から取って下さい。

操作スイッチ

⑫両側の取っ手を持ち、カチッとロックするまで、ヘッド部を下げてください。



準備完了!!

5. 自動・手動包装をする

まずはじめに

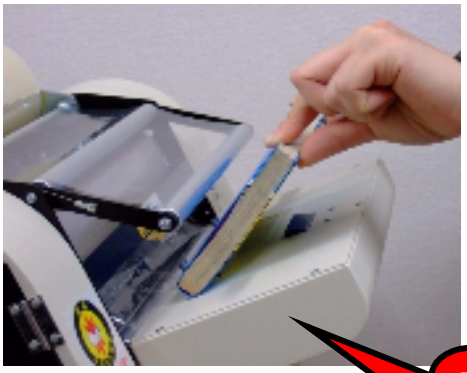
・自動包装をする場合も手動包装をする場合も、まず電源スイッチを入れて、約１０分間機械内部を暖めてください。

“操作スイッチ”（緑）のランプが点灯したら、準備完了です！

※　暖めている最中に本を投入されると、正常にシュリンクできない場合があります。

自動包装〔文庫・新書・Ｂ６・Ａ５〕

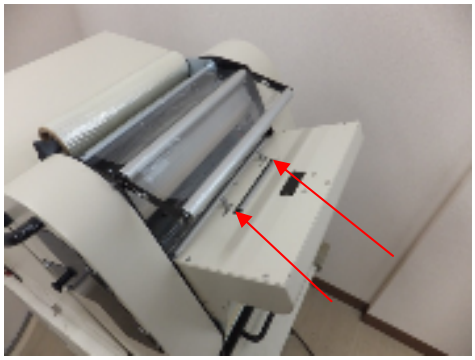
① 操作スイッチが点灯していることを確認し、本を横向きに背表紙側を下にして**投入ピン**に当てて、本を置いて下さい。



この時、投入スイッチは押されません！！

手を離すことによって、本の重さで投入スイッチが押されます！

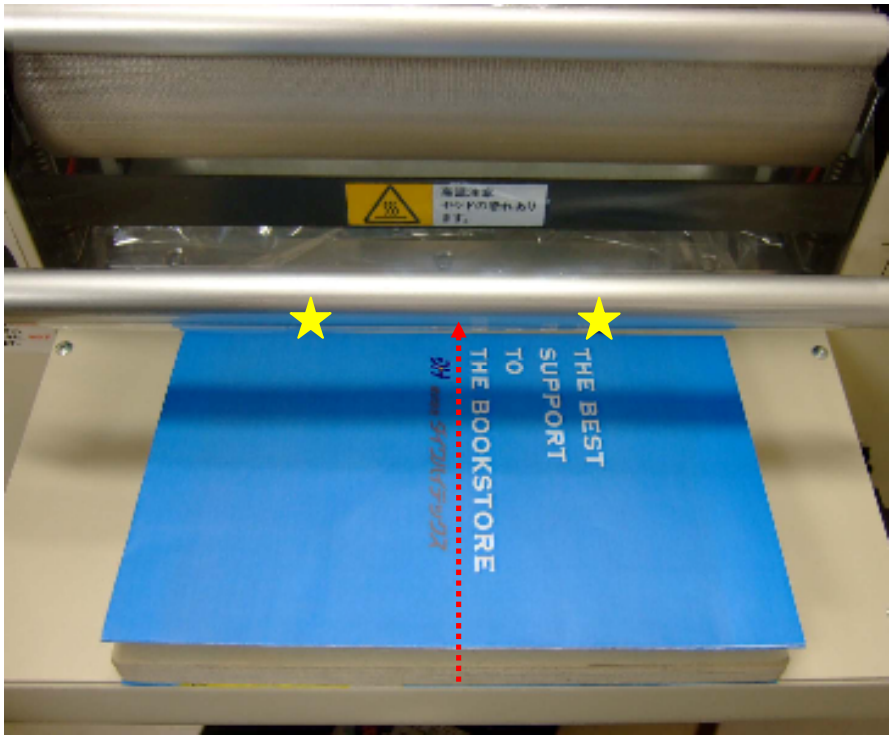
② 連続して包装する場合、同様に**投入ピン**が立ち上がってから本を置くようにしてください。



投入ピン

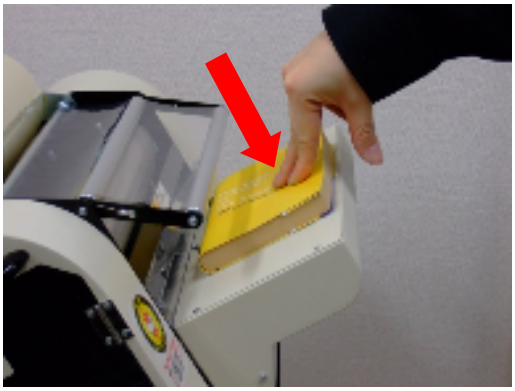
キレイに仕上げるポイント①

・表紙を下に向けて置く
・投入ピンと本の中心が合うように置く
※２本の投入ピン ☆ の中心と本の中心が合うように置くと、キレイに仕上がります。
・投入ピンに本を置き、そのまま手を離すように置く。



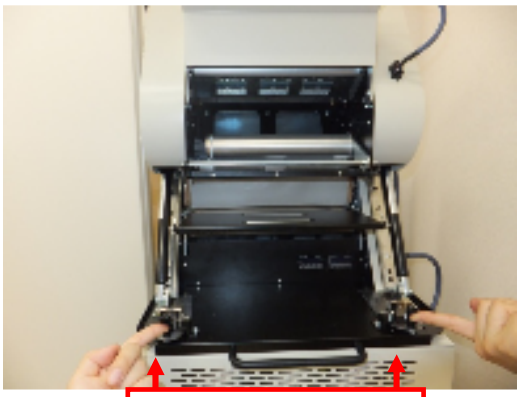
ポイント②

・極端に軽い本や反っている本は、置いても投入スイッチを押さないことがあります。
その場合、本の上から投入スイッチを押すように置いてください。

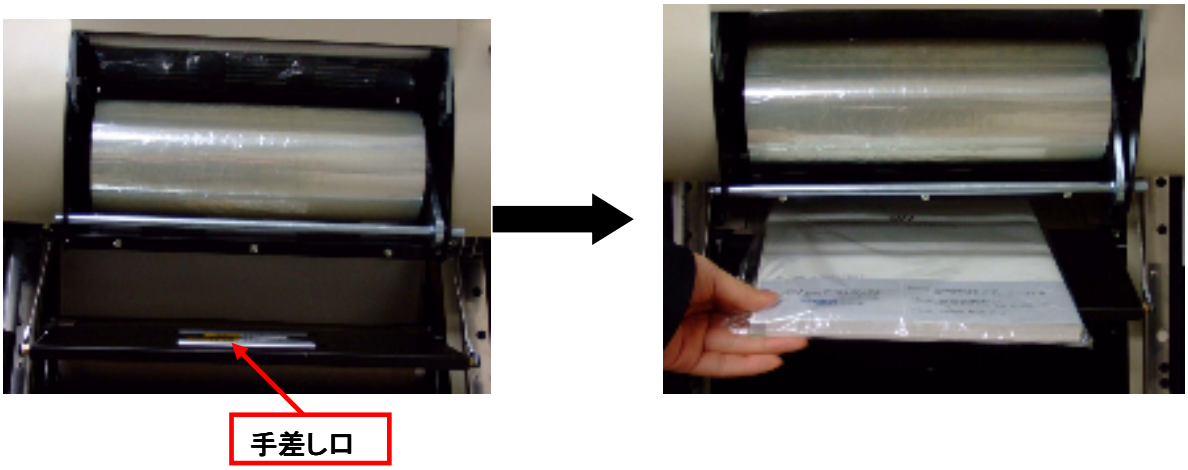


手動包装〔Ａ５厚手 SF200～写真集 SF290〕

① ヘッド部のロックレバーを上方向に持ち上げて、上昇させます。



② シュリンク袋に入れた本を袋の口の開いた方から投入してください。



キレイに仕上げるポイント

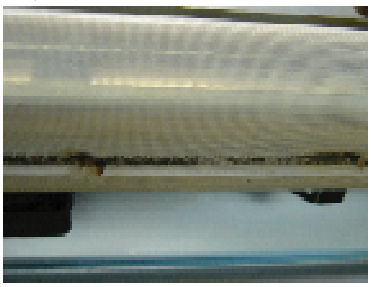
・表紙を下にすると、キレイに仕上がります。
・袋の端を背表紙側に寄せた状態で投入すると、キレイに仕上がります。
・タコ足配線や延長コードをご使用されますと、電圧の関係により仕上りが悪くなる恐れがありますのでおやめください。

１－４　電源を切る際の注意点

電源スイッチを切っても、機械の背面からクーリングのためにファンが回っています。
ファンが止まるまで、電源コードはコンセントから抜かないでください。

6. メンテナンス手順

↓焦げたテフロンシート

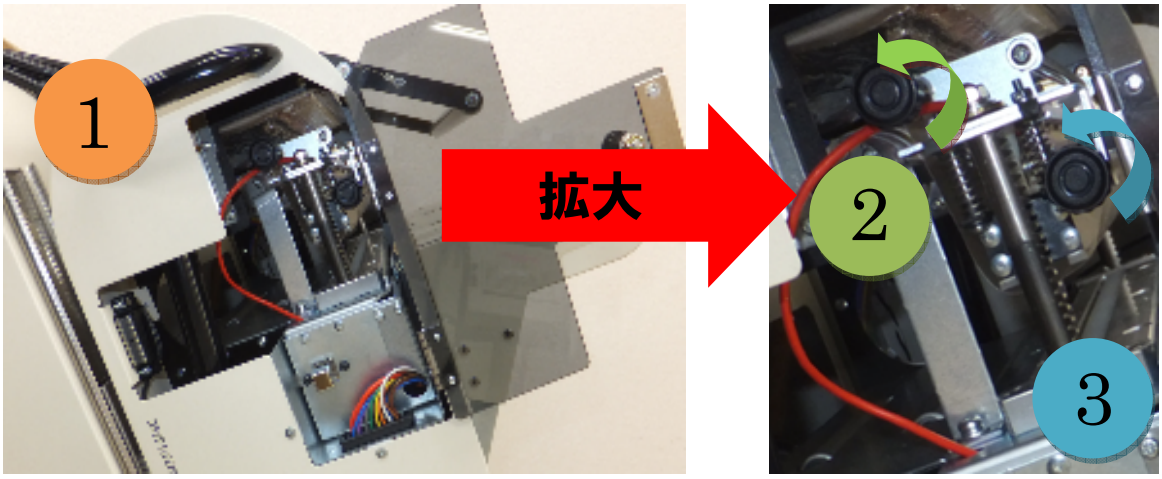


テフロンシートをずらす

どんなときに・・・？

- 包装した本のフィルム接合が黒く焦げた色になってきたとき
- シールの接合部が破れやすい、切れが悪いとき
- テフロンシートが裂けたり、破れたとき

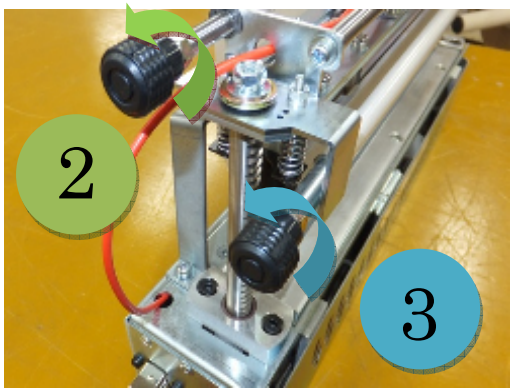
①機械側面の窓を開けます。（ユニットを本体から取り出す必要はありません。）



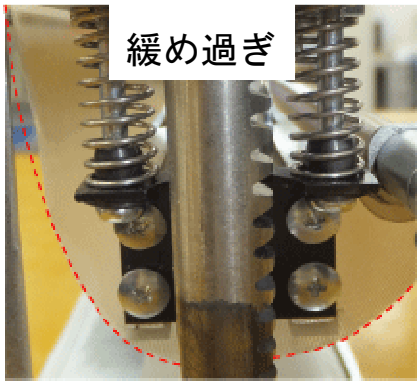
②２つあるテフロンシート用のツマミの上側を反時計回りに回し、先に３㎜程緩めます。

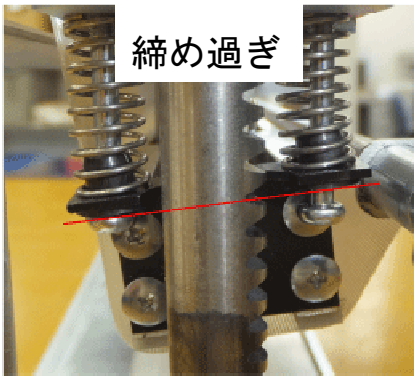
③次に下側のツマミを反時計回りに回し、テフロンシートが軽く張るまでしめてください。シール面のテフロンシートをずらすこと事が出来ます。

↓分かりやすく外に出すと



【巻取り失敗例】





テフロンシートを張りすぎると受けの部分が曲がり、故障の原因となりますので、ご注意ください。

【ポイント】

ツマミを 3mm 巻き込めば新しい部分で使用できます。

1 回の巻き込み量を 3mm 程度にすることでテフロンシートを無駄なく使用できます。

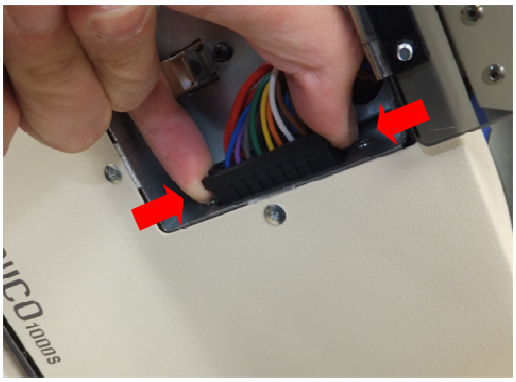
テフロンシートの交換方法

①シールユニットの取り出し方

※機械内部に埃が溜まらないよう月に１度を目安に清掃を行って下さい。

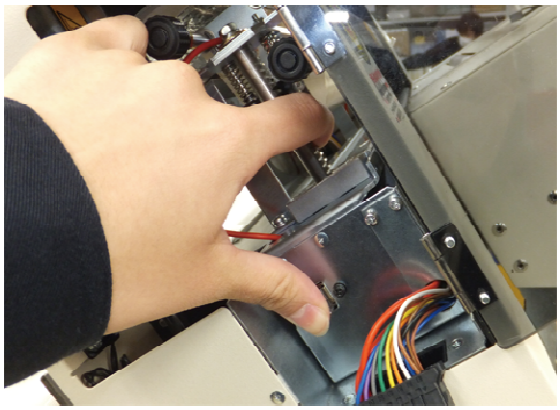
① コネクターを抜く

シールユニット扉を開けて、コネクター左右のツメを押えながら平行にコネクターを抜きます。

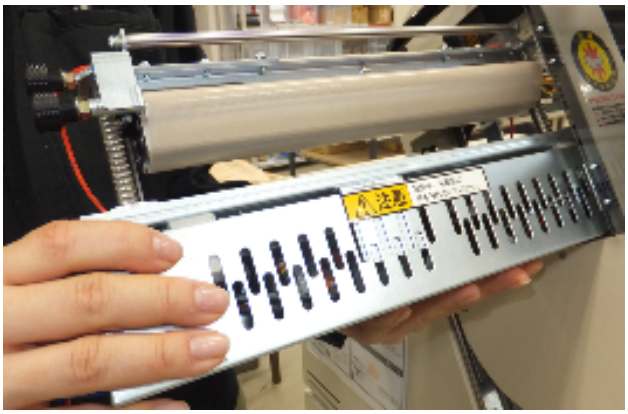


② シールユニットを取り外す

①指をバーに引っ掛け、
角いボタンを押しながら引き出す。



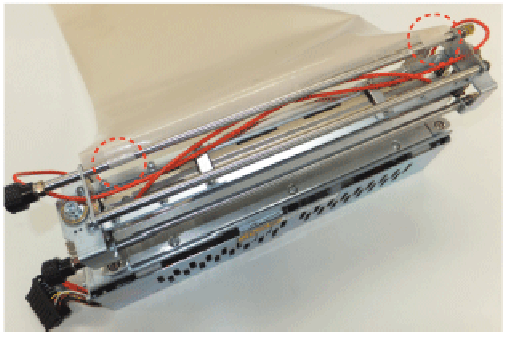
②足元に落とさないように、しっかりと
両手でしっかりと支えながら引き抜きま



※取り出すときは必ずシールユニット下部を両手で持ち、シール部を持ったり触れたりしないでください。

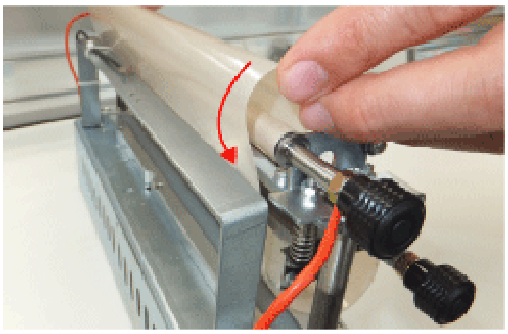
②新しいテフロンシートの交換方法

①古いテフロンシートを剥がす。
②新しいテフロンシートを貼り付ける



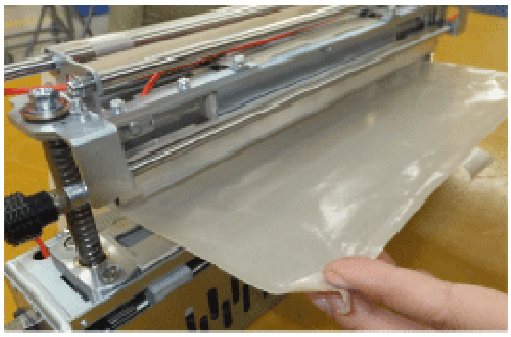
新しいテフロンシートを留めてあった専用テープを使し、シールユニットの上側の巻き取り棒にシートを 2 箇所固定します。

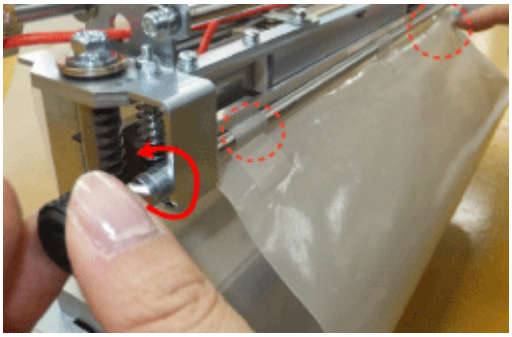
③貼り付けてない方のテフロンシートを、棒と板の隙間に通す



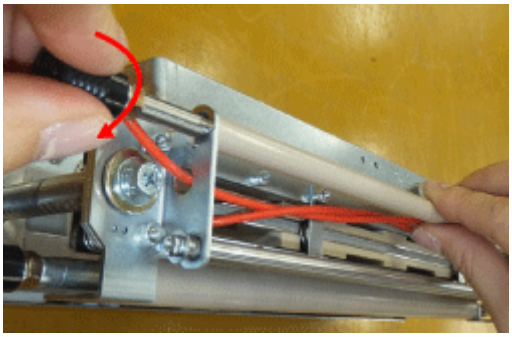
④通したテフロンシートを下側の巻取り棒に貼り付ける

隙間から出したシートを手前へ引っ張ります。下側の巻き取り棒にシートを２箇所固定します。
つまみを反時計方向へ３周程巻きます。





⑤テフロンシートを巻き取る



上側の巻き取り棒のシートがたわまないように指で押さえながら、つまみを時計方向に回し、残りのシートを巻き取ります。

7. 故障かな？と思ったら

お客様ご自身で解決できるかもしれません！

・簡単に機械の調子を良くできる可能性があります！

・(1)～(4)の解決リストを参考にしてみてください。

(1) 電源

スイッチを入れても機械が全く動かない

コンセントに電気がきていない可能性があります	→	コンセントの電源・ブレーカーが落ちていないか確認してください。
機械に電気がきていない可能性があります	→	電装部とヘッド部、トンネル部を繋ぐコネクターが外れていないか確認してください。コネクターが外れている場合は、奥までしっかりとはめ込んでください。

(2) 本の投入

本を置いても投入ピンが下りない

本が反っているため投入スイッチが押されていない可能性があります	→	本の上から投入スイッチを押してください。

投入ピンが下りて本は入るが、途中で止まってしまう

フィルムの送りが悪くなっている可能性があります	→	フィルムロールが浮いている可能性があります、セット状態を確認してください。
フィルムを載せるローラーにフィルムが絡まっている可能性があります	→	フィルムを外して、再度セットしてください。
フィルムのセット方向が間違っている	→	正しい方向でフィルムをセットし直してください。(フィルムセット方法参照)

（３）シールカット

シールカットの切れが悪い

シールの温度が上がりきっていない可能性があります → 温度が上がるまで１０分程度待ってから、もう一度カットしてください。手動シール（操作スイッチ２秒長押し）をして本を切り離してください。

テフロンシートが消耗している可能性があります → テフロンシートを回転させて、新しい面をカット部にするまたは、新しく取り替えてください。(P18 参照)

本はシールカット部に入るが、シールカットが降りてこない

シールユニットのセンサーに埃や汚れが付いている可能性があります → シールユニット中心にある四角い穴の中のセンサー（P5 参照）をティッシュ等で軽く拭いてください。

（４）仕上がり

出てきた本の接合部に穴が開いている

特殊印刷の表紙で現象が出る場合があります → 穴の開いてしまった本のみ、表紙を通常と逆（表紙を上）にして投入してください。

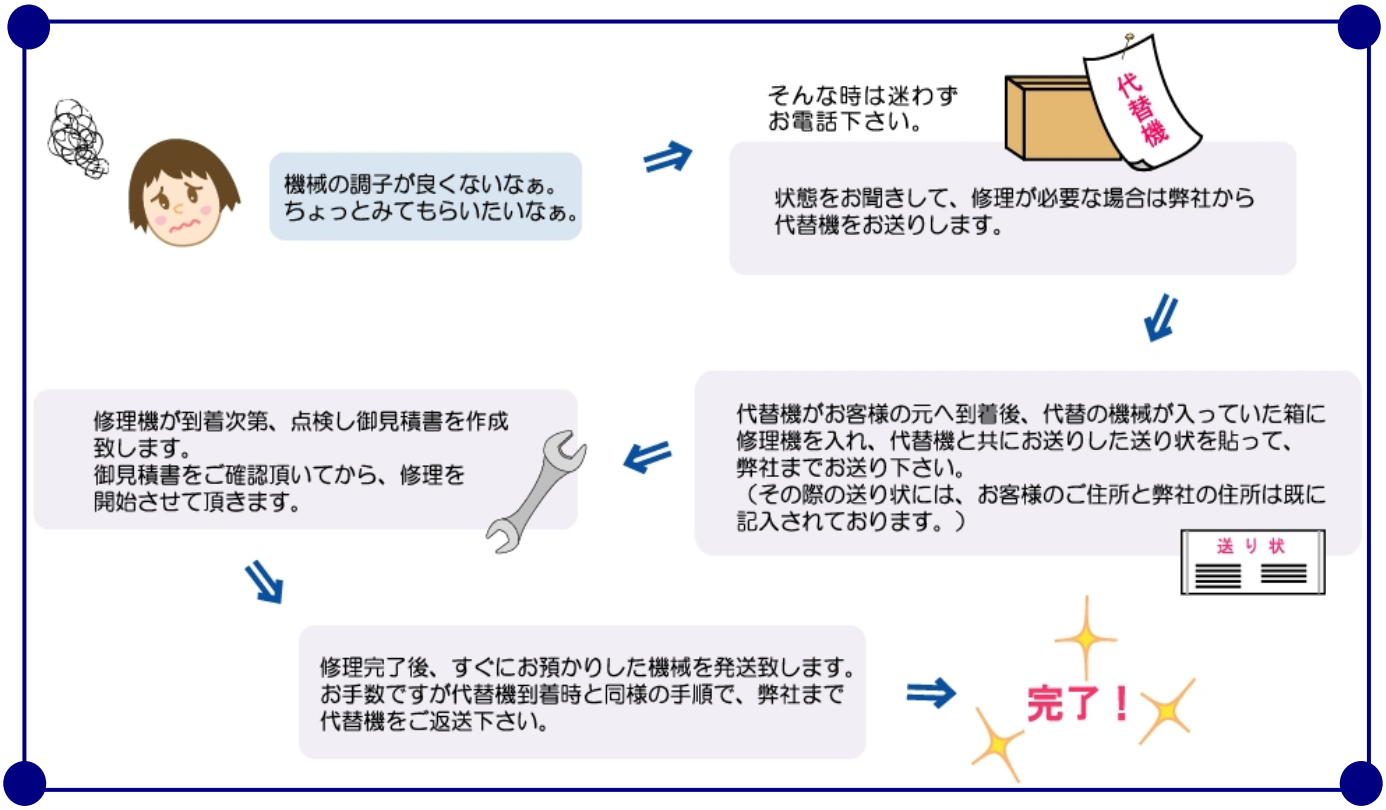
8. アフターサービスについて

弊社では購入していただいたお客様に対して、**徹底したアフターサービス**を行っております。

※保証期間中に正常な使用状況で、万一故障が生じた場合には、保証書記載事項に基づき「**無償修理**」をいたします。また、保証期間経過後の修理については「**有償修理**」をいたしますので、メンテナンス係（03-3558-8131）までご連絡ください。（大阪支店[06-6190-5731]）

※弊社では、運送便にて修理する場合、代替機を無料で貸し出しさせて頂いております。
代替機の２往復分の運送代は弊社にて全額負担いたします。
※有償修理についてはお見積もり提出後、お客様の了解を得た上で修理を開始いたします。
※作業完了後、動作テスト・クリーニングをして返送いたします。

機械の修理手順



運送便の梱包作業について

運送便を利用した修理において､弊社はお客様に修理機および代替機の梱包作業をお願いしております。
１回の修理において「代替機到着・修理機発送」および「修理機到着・代替機返却」の２回にわたって作業をしていただくこととなります｡お手数ですが､安全に作業をしていただきますようお願いいたします。

※　機械破損およびケガ防止のため、２人以上による梱包作業をお願いいたします。

フィルム及びシュリンク袋の保管方法と保証について

・直射日光を避け、２５℃以下の場所に保管してください。３５℃以上になると自然収縮しますので、保管場所に十分注意してください。

・本機は当社純正フィルムに合わせて設計されている為、必ずＮＲシュリンクフィルムおよびＳＦシュリンク袋をお使いください。

※純正フィルムは厚みや収縮率など、機械に合わせて開発しております。
フィルムの性質が違いますと機械に不具合が生じたり、仕上がりが不十分になる恐れがあります。
この場合、**保証期間内であっても修理時の無償サービスの対象外とさせて戴きます。**

お手入れ方法

お手入れ前には必ずメインスイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてください。

・機械外部のお手入れは外観の汚れを取る程度に留めてください。
湿った布で拭いた後、乾いた布でもう一度拭いてください。
汚れがひどい場合には中性洗剤等を使用してください。(ベンジン・シンナー等では、拭かないでください)

・シールユニット部は、埃やフィルムカスを取り除いてください。

● 修理・アフターサービス他ご不明な点は、下記までお問い合わせください！

株式会社ダイワハイテックス

～メンテナンス部までご用命ください！～

★東京本社：〒174-0043　東京都板橋坂下 1-34-27
電話番号　０３－３５５８－８１３１（代）
FAX 番号　０３－３５５８－８１３２
★大阪支店：〒564-0062　大阪府吹田市垂水町 3-2-1
電話番号　０６－６１９０－５７３１（代）
FAX 番号　０６－６１９０－５７３２
消耗品注文専用フリーダイヤル　FAX 番号　０１２０－０５６－７４０

第６版：平成２６年４月